

消防統計2006

消防のたもと

たごの風 32号

119

火災・救急・救助

代表 62-0119
総務課 総務係 62-1119
管理係 62-8129
予防課 67-5119

消
防

ご協力をお願いします

救急車の適正利用について

京丹後市では、昨年2,331件の救急出動がありました。これは、10年前と比較すると約1.5倍の出動件数になります。

救急出動の増加に伴い、直近の消防署では対応しきれず、遠方の消防署から救急車が出動するケースが増えています。

また、軽いケガや風邪など、客観的にみて救急車を必要としない症状で救急車を要請されるかたが多く、昨年救急車を利用されたかたの約4割が入院を必要としない「軽症」と診断されています。

救急車は本来、急病や事故などにより、生命が危険な状態にある傷病者を一刻も早く医療機関へ搬送するためのものです。

本当に救急車を必要とするかたの妨げとならないよう、適正な利用を心がけましょう。

救命率の向上を目指して

救命講習

傷病者の救命率を上げるためには、救急隊が現場に到着するまでの市民のみならず、京丹後市消防本部では応急手当の正しい技術を身につけていただくために、各種救命講習会を行っています。昨年1年間に2,008人、過去10年間は、合計19,793人のかたが救命講習を受講され、心肺蘇生法、AED（自動体外式除動器）の取り扱い、止血法などを学ばれました。

大切なかたの命を守るために、ぜひ救命講習を受講しましょう。

- 救急一ロメロ 『救急支援について』
- ① 傷病者が、心肺停止状態であると予想される場合
 - ② 救急隊のみでは、収容に時間がかかると思われる場合(住宅二階以上、海岸、山間部など)
 - ③ 救命活動に支障を及ぼすと予想される場合(交通事故など)
 - ④ 通信指令室員、または出動救急隊長が必要と認めた場合
- 以上のようなことが予想される場合、救急車と消防車がサイレンを鳴らして行くことがあります。火災とまぎらわしいとは思いますが、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

前年に次ぐ出動件数
救急件数は、二、三三一件で、前年から四四件減少しましたが、過去最多であった前年に次ぐ二番目に多い件数となりました。一日の平均出動数は六・三九件で、約三時間四五分に一件出動したことになります。

前年に次ぐ出動件数

救急

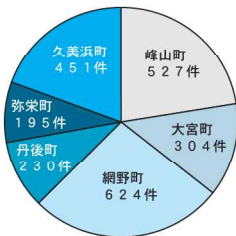
2,331件

《44件減》

救急種別出動状況

●急病	1,411件
●交通	308件
●一般負傷	273件
●転院	219件
●自損行為	34件
●その他	86件

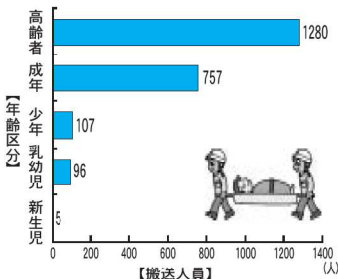
救急町別出動状況



救急の高齢化

救急搬送者を年齢別にみると、六五歳以上の高齢者のかたが全体の五七パーセントを占めています。また、久美浜町、大宮町、丹後町、弥栄町の順になりました。

救急年齢区分別搬送状況



市民の力で



消防長 上田 賢

昨年『救急』に対するさまざまな取り組みを行いました。「マーク事業所認定制度」、「AEDの設置推進」、「普通救命講習会の開催」など、あらゆる取り組みで市民のみならず年々『救急』が身近なものに感じられたのではないのでしょうか。人工呼吸・心臓マッサージなどの救命講習修了者が増えてきていることはたいへんありがたいことです。これからは職場で、あるいは地域で機会があれば進んで救命講習会などに足を運んでください。救急に限らず火災・救助などの件数が少しでも減っていくようにご協力をお願いします。

過去最多の火災件数

火災

32件

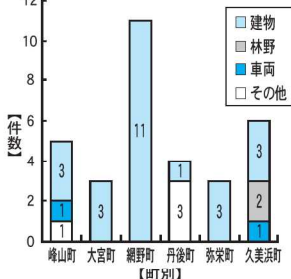
《1件増》

火災件数は、前年に比べ一件増え、過去最多の三二件発生しました。種別でみると、建物火災が前年よりも八件増加し二四件発生、林野火災二件、車両火災二件、その他火災が四件発生しています。平均すると、一・一・四日ごとに一件火災が発生したことになります。火災による死者は一人、負傷者は五人発生しました。

不注意から出火

原因別でみると、たき火の四件が最も多く、次いでストーブと火遊びからそれぞれ三件発生しています。火災原因の多くは、火の取り扱いの不注意や不始末によるものです。一人ひとりが火の正しい取り扱いを身につけて、『ついうっかり』をなくすることが大切です。

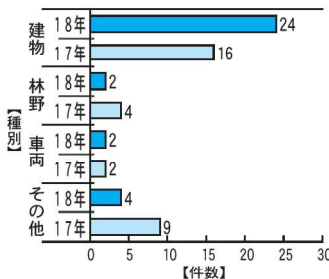
町別火災発生状況



火災原因

●たき火	4件
●ストーブ	3件
●火遊び	3件
●たばこ	2件
●風呂かまど	2件
●排気管	2件
●配線器具	2件
●放火の疑い	2件
●その他	12件

火災種別(対前年)



過去二番目の出動件数

救助

48件

《8件減》

救助件数は、過去最多だった昨年から六件減少し四八件でした。このうち救助活動を行った件数は三一件で、救助したかたは三七人でした。事故種別をみると、交通事故の三一件が最も多く、全体の六五パーセントを占めています。自然災害では、丹後町間人地区で大規模な土砂災害が発生し、お一人のかたが亡くなりました。署所別の出動件数は、本署の一七件が最も多く、久美浜分署が一三件、網野分署が一二件、竹野川分遣所が七件でした。

救助種別

●交通事故	31件
●機械事故	4件
●水難事故	3件
●自然災害	2件
●その他	8件



救急救命士 小森 英志

救急のになぜ消防車。火事でもないのに救急車と消防車が来て驚かれたことはありませんか。

消防本部では、平成十五年十二月一日から救急出動時に救急車と消防車を同時に出動させる救急支援出動を行っています。救急支援出動は次のような場合に実施します。

各種救命講習の詳しい内容などは